

10月15日 の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Oct)	Palladium (Dec)
Open	4,130.9	50.755	1,682.5	1,537.0
High	4,190.9	52.495	1,713.6	1,603.5
Low	4,105.0	48.750	1,640.5	1,486.0
Settlement	4,163.4	50.622	1,676.5	1,589.2
Change	30.4	0.193	-15.3	58.0
EFP	\$10.00	\$20.00	-¢ 15.00	-¢ 5.00
			\$20.00	\$30.00
			\$20.00	\$40.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,191.25	4,204.60
Silver	52.585	-
Platinum	1,660.00	1,648.00
Palladium	1,557.00	1,540.00

コメント
Precious Metal

金：上昇、銀：上昇、プラチナ：横ばい、パラジウム：横ばい

自民党と日本維新の会は党首会談で、将来的な連立政権の可能性を視野に入れた政策協議の開始で合意したとの報道や、経済指標として発表された10月の米ニューヨーク連銀製造業景気指数（予想：0.1、結果：10.7）が予想を大幅に上回ったことなどを受け、円売り・ドル買いが先行した。しかし、中国に対する90日間の高関税停止措置の期限を11月に控え、米中間の貿易摩擦激化への懸念が再燃し、後半にかけてドルは売られる展開となった。ドル指数の低下を背景にメタル市場には買いが入り、金先物相場は4日続伸となり、連日で史上最高値を更新した。また、米中貿易摩擦の深刻化懸念や米利下げ観測の高まりが、利息を生まない金の需要を支える要因となった。

FX

ドル円：下落、ユーロドル：下落

米経済指標の上振れを受けて、一時的に円売り・ドル買いが進んだが、貿易問題を巡る米中対立が懸念され、売られる展開となった。

ユーロドルは22時過ぎに一時1.1611ドル付近まで売られる場面もあったが、仏政治不安の後退や米利下げ観測の高まりを背景に、ユーロ買い・ドル売りがじわりと強まった。

ドル円：151.05 ユーロドル：1.1647ドル

10月13日 週の経済指標一覧

	10/13 (月)	10/14 (火)	10/15 (水)	10/16 (木)	10/17 (金)
USA	前	予	前	予	アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 09月 [前月比]
			前	0.4% 予	0.4% 前 0.6% 予 0.4% 前 0.1% 予 -
					アメリカ・小売売上高 09月 [前月比]
	前	予	前	予	アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 09月 [前月比]
			前	2.9% 予	3.1% 前 0.7% 予 0.3% 前 予
					アメリカ・小売売上高 09月 [自動車除くコア・前月比]
Asia	前	予	前	予	アメリカ・フィラデルフィア連銀景況指数 10月
			前	0.3% 予	0.3% 前 23.2 予 8.0 前 予
					アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 09月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]
	前	予	前	予	前 3.1% 予 3.1% 前 予 前 予
Europe	前	予	前	予	前 予 前 予
			前	予	前 予 前 予
	前	予	前	予	前 予 前 予
					前 予 前 予

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

米政府閉鎖の影響により情報公開無

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。